平成24年10月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年６月11日

上 場 会 社 名	正栄食品工業株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	8079	URL	http://www.shoeifoods.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)本多　市郎	
問合せ先責任者	(役職名)常務取締役	(氏名)藤雄　博周	TEL 03(3253)1211
四半期報告書提出予定日	平成24年6月12日	配当支払開始予定日	平成24年7月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成24年10月期第２四半期の連結業績（平成23年11月１日～平24年４月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第２四半期	42,714	9.7	1,828	1.9	1,980	6.0	1,218	19.6
23年10月期第２四半期	38,946	5.4	1,794	△3.1	1,869	△4.0	1,019	△13.3

(注)包括利益　24年10月期第２四半期　1,628百万円（48.5%）　23年10月期第２四半期　1,096百万円（―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第２四半期	62 67	―
23年10月期第２四半期	52 39	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第２四半期	52,282	24,114	44.9
23年10月期	44,114	22,722	49.9

(参考)　自己資本　24年10月期第２四半期　23,473百万円　23年10月期　22,028百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	―	6 00	―	9 00	15 00
24年10月期	―	6 00			
24年10月期(予想)			―	6 00	12 00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3.　平成24年10月期の連結業績予想（平成23年11月１日～平成24年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,500	4.4	2,500	6.9	2,500	6.1	1,400	25.2	71 97

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)　：　無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　無
④ 修正再表示　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年10月期2Q	21,159,914株	23年10月期	21,159,914株
② 期末自己株式数	24年10月期2Q	1,708,207株	23年10月期	1,708,032株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年10月期2Q	19,451,791株	23年10月期2Q	19,451,974株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
4. 四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 10
(4) セグメント情報等 …… 10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興への取組み等、景気は緩やかに持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州債務問題や中国経済の減速懸念、長引く円高により依然として経済情勢は不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者マインドが徐々に改善しつつありますが、生産物価格や輸入食材価格が上昇する中、消費者の節約・低価格志向は依然強く、当業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、海外市場でのナッツ・ドライフルーツ等を主力とした積極的な販促活動を推進すると共に、市場ニーズに即応した商品開発や生産子会社の設備拡充に努めてまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、427億14百万円（前年同四半期比109.7%）と伸長し、原材料、資材の購買原価の上昇や運送費等の物流経費の増加もありましたが、営業利益は18億28百万円（前年同四半期比101.9%）となり、経常利益は19億80百万円（前年同四半期比106.0%）となりました。

また、昨年は、東日本大震災に伴う損害など、利益面での影響を受けましたが、当第２四半期連結累計期間の四半期純利益は、12億18百万円（前年同四半期比119.6%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

１　日本

国内の売上高は、レーズン等の乾果実類が堅調に推移し、クルミやアーモンド等のナッツ類やフルーツ加工品や缶詰類が好調であったことから、384億91百万円（前年同四半期比103.0%）となり、セグメント利益は、20億38百万円（前年同四半期比99.0%）となりました。

２　米国

当地域の売上高は、米国産クルミ事業の拡大に伴う販売増から、79億71百万円（前年同四半期比129.4%）となり、セグメント利益は、１億97百万円（前年同四半期比100.2%）となりました。

３　中国

当地域の売上高は、ナッツ・シード類の輸出が増加したことから、27億82百万円（前年同四半期比148.4%）と伸長し、セグメント利益は、55百万円（前年同四半期はセグメント損失51百万円）となりました。なお、前連結会計年度末まで持分法適用会社であった上海秀愛国際貿易有限公司は、連結財務諸表における重要性が増したため、第１四半期連結会計期間より連結子会社としております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は522億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億68百万円増加いたしました。その主な要因のうち、流動資産については、「現金及び預金」が１億97百万円、「受取手形及び売掛金」が27億42百万円、「商品及び製品」が17億19百万円、「仕掛品」が４億31百万円、「原材料及び貯蔵品」が12億57百万円、流動資産の「その他」が10億56百万円それぞれ増加し、「繰延税金資産」が１億23百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ72億65百万円増加しました。また、固定資産は「建物及び構築物」が３億71百万円、「建設仮勘定」が７億23百万円それぞれ増加し、投資その他の資産が２億17百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ９億３百万円増加いたしました。

負債合計は、281億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億76百万円増加いたしました。その主な要因のうち、流動負債については、「賞与引当金」が１億26百万円減少しましたが、「支払手形及び買掛金」が35億75百万円、「短期借入金」が18億11百万円、「未払法人税等」が３億30百万円、流動負債の「その他」が２億63百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ59億11百万円増加しました。また、固定負債は、「長期借入金」が８億62百万円増加したことに伴い、前連結会計年度末に比べ８億64百万円増加いたしました。

純資産合計は、241億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億92百万円増加いたしました。その主な要因は、「利益剰余金」が10億43百万円、「為替換算調整勘定」が２億83百万円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ１億97百万円増加（前年同四半期は５億91百万円の減少）し、52億65百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第２四半期連結累計期間の末日が金融機関の休日であったため、売上債権ならびに仕入債務がそれぞれ増加しましたが、ナッツ事業におけるたな卸資産の増加もあり使用した資金は９億88百万円（前年同四半期の使用した資金は６億62百万円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、本社ビルの建替えに伴う工事着手金や有形固定資産の取得による支出から使用した資金は13億99百万円（前年同四半期の使用した資金は８億54百万円）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加や長期借入れによる収入など、金融債務の増加により得られた資金は22億77百万円（前年同四半期の得られた資金は９億19百万円）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の業績予想は、平成23年12月12日に公表いたしました内容から変更しておりません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、重要性が増した上海秀愛国際貿易有限公司を連結子会社としております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月２日に公布され、平成24年４月１日以降に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40％から、平成24年11月１日に開始する連結会計年度から平成26年11月１日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38％に、平成27年11月１日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35％となります。

この税率変更により、流動資産の「繰延税金資産」が8,286千円、固定資産の「繰延税金資産」が21,730千円、固定負債の「繰延税金負債」が18,694千円それぞれ減少し、「法人税等調整額」（借方）が24,246千円増加しております。また、その他有価証券評価差額金が13,269千円、繰延ヘッジ損益が345千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年10月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,067,582	5,265,486
受取手形及び売掛金	14,528,542	17,270,794
商品及び製品	8,448,160	10,168,096
仕掛品	439,888	871,144
原材料及び貯蔵品	1,180,818	2,438,182
繰延税金資産	477,560	354,495
その他	709,627	1,766,542
貸倒引当金	△14,665	△31,682
流動資産合計	30,837,515	38,103,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,183,373	4,554,551
機械装置及び運搬具（純額）	3,436,695	3,433,345
工具、器具及び備品（純額）	142,524	128,204
土地	2,255,224	2,267,944
リース資産（純額）	160,992	138,244
建設仮勘定	346,035	1,069,477
その他（純額）	26,143	73,303
有形固定資産合計	10,550,990	11,665,070
無形固定資産		
ソフトウエア	46,436	38,717
その他	116,669	131,013
無形固定資産合計	163,106	169,731
投資その他の資産		
投資有価証券	1,499,793	1,570,447
繰延税金資産	106,004	93,379
その他	1,030,493	739,309
貸倒引当金	△73,713	△58,211
投資その他の資産合計	2,562,577	2,344,924
固定資産合計	13,276,674	14,179,727
資産合計	44,114,189	52,282,787

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年10月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年４月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,014,717	11,590,120
短期借入金	8,965,210	10,776,602
1年内返済予定の長期借入金	100,800	181,200
未払法人税等	326,066	656,712
賞与引当金	638,480	511,680
役員賞与引当金	43,300	20,550
その他	2,300,740	2,564,053
流動負債合計	20,389,314	26,300,920
固定負債		
長期借入金	348,800	1,211,300
退職給付引当金	246,740	284,547
役員退職慰労引当金	191,854	176,115
繰延税金負債	15,143	25,276
その他	200,258	170,316
固定負債合計	1,002,797	1,867,556
負債合計	21,392,112	28,168,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,770
利益剰余金	17,871,363	18,915,278
自己株式	△1,299,907	△1,299,990
株主資本合計	22,993,962	24,037,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,877	154,793
繰延ヘッジ損益	△70,118	△10,711
為替換算調整勘定	△991,396	△707,972
その他の包括利益累計額合計	△965,636	△563,890
少数株主持分	693,751	640,406
純資産合計	22,722,077	24,114,310
負債純資産合計	44,114,189	52,282,787

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年11月１日 至　平成23年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）
売上高	38,946,925	42,714,372
売上原価	33,140,462	36,490,086
売上総利益	5,806,463	6,224,285
販売費及び一般管理費	4,012,339	4,396,260
営業利益	1,794,124	1,828,025
営業外収益		
受取利息	5,970	6,739
受取配当金	10,400	12,729
為替差益	30,153	87,803
受取保険金	15,454	16,098
持分法による投資利益	20,775	13,051
受取補償金	－	57,775
その他	40,028	79,868
営業外収益合計	122,782	274,066
営業外費用		
支払利息	42,463	58,888
シンジケートローン手数料	－	21,000
支払補償費	－	33,811
その他	5,433	7,827
営業外費用合計	47,896	121,526
経常利益	1,869,010	1,980,565
特別利益		
固定資産売却益	37	9,308
貸倒引当金戻入額	6,212	－
負ののれん発生益	－	33,083
特別利益合計	6,250	42,392
特別損失		
固定資産除却損	12,826	58,684
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,800	－
災害による損失	163,006	－
その他	753	3,216
特別損失合計	196,386	61,901
税金等調整前四半期純利益	1,678,874	1,961,055
法人税、住民税及び事業税	535,673	648,224
法人税等調整額	128,916	87,550
法人税等合計	664,590	735,774
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014,283	1,225,280
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△4,771	6,293
四半期純利益	1,019,055	1,218,987

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年11月１日 至　平成23年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014,283	1,225,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,175	60,214
繰延ヘッジ損益	92,284	59,406
為替換算調整勘定	9,439	283,423
持分法適用会社に対する持分相当額	3,834	－
その他の包括利益合計	82,383	403,044
四半期包括利益	1,096,666	1,628,324
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,103,349	1,620,733
少数株主に係る四半期包括利益	△6,682	7,591

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年11月１日 至　平成23年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,678,874	1,961,055
減価償却費	724,645	740,886
支払利息	42,463	58,888
為替差損益（△は益）	9,847	△90,904
引当金の増減額（△は減少）	△602,732	△128,117
売上債権の増減額（△は増加）	△1,258,056	△2,356,033
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,723,204	△2,817,844
仕入債務の増減額（△は減少）	1,009,875	3,154,124
その他の流動資産の増減額（△は増加）	207,123	△948,805
その他	39,736	△221,557
小計	128,572	△648,307
利息及び配当金の受取額	30,631	49,952
利息の支払額	△41,735	△57,991
法人税等の支払額	△780,095	△331,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	△662,626	△988,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△854,917	△1,368,091
有形固定資産の売却による収入	1,776	10,059
投資有価証券の取得による支出	△5,405	△20,855
その他	3,626	△20,334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△854,919	△1,399,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	570,820	1,534,656
長期借入金の返済による支出	△10,400	△57,100
長期借入れによる収入	500,000	1,000,000
自己株式の取得による支出	△76	△131
自己株式の売却による収入	21	42
リース債務の返済による支出	△24,425	△24,410
配当金の支払額	△116,712	△175,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	919,227	2,277,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,080	187,470
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△591,238	78,083
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	―	119,820
現金及び現金同等物の期首残高	4,809,223	5,067,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,217,984	5,265,486

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成22年11月１日 至 平成23年４月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,937,812	1,811,959	197,152	38,946,925	―	38,946,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	440,883	4,346,896	1,678,384	6,466,164	△6,466,164	―
計	37,378,696	6,158,856	1,875,537	45,413,090	△6,466,164	38,946,925
セグメント利益又は損失（△）	2,060,040	196,949	△51,806	2,205,184	△411,060	1,794,124

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△411,060千円には、セグメント間消去△18,612千円、全社費用△392,448千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成23年11月１日 至 平成24年４月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,058,150	3,347,939	1,308,282	42,714,372	―	42,714,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	433,048	4,623,600	1,474,323	6,530,972	△6,530,972	―
計	38,491,198	7,971,539	2,782,605	49,245,344	△6,530,972	42,714,372
セグメント利益	2,038,977	197,277	55,254	2,291,509	△463,484	1,828,025

（注）１．セグメント利益の調整額△463,484千円には、セグメント間消去△67,206千円、全社費用△396,277千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

「日本」セグメントにおいて、連結子会社株式の追加取得により、負ののれん発生益33,083千円を、当第２四半期連結累計期間に計上しております。なお、報告セグメントのセグメント利益には、負ののれん発生益は含まれておりません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。